

名古屋駅[東エリア] 街歩きマップ Eastern area of Nagoya station Walking map



1 坪内逍遙の碑
「小説神髓」などで「日本近代文学の父」とされる逍遙は、旧尾張藩士の子。幼年期をこの地で過ごし、寺小屋、東立洋学校(現旭丘高校)、立愛知英語学校に学び、桶町の芝居、資本大忍などで教養を身につけた。



2 愚痴聞き地蔵(曹洞宗桂芳院)
桂芳院の住職が、バブル崩壊後の殺伐としたストレス社会で、「愚痴を聞くのも仏の務め」と、名づけた。これが受けて、じわじわ売れだした。地蔵さんは、柔和なお顔でどんな愚痴でも静かに聞いてもらえ、気分はずっわり。



3 多賀宮(おもかる石)
願い事の前に石を両手を持ち上げ、重さを覚える。願い事後、「叶えていた石を持ち軽く(重く)なっていください」と石を上げ、軽く(重く)なっていくは願いは成就とか。「縁結びのお多賀さん」も同居している。



4 菓子問屋街
名古屋の駄菓子文化は名古屋城築城時代のさかのぼる。当時は1日2食が普通で、築城の重労働の人々の空腹を満たすために駄菓子が発達。1923年の関東大震災で東京の駄菓子製造がストップ、名古屋では一層発展した。



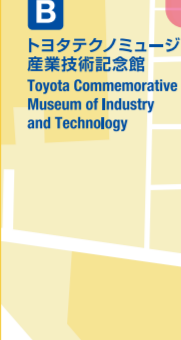
6 長久山 圓頓寺
承久3年(1654)普敬院日言上人が創建、享保9年(1724)今の地に移った。本堂は名古屋城天守閣の余材で建てたと伝わる。藩祖義直の側室が寄進の鬼子母神像、寺宝に開基日言木造、賀茂殿馬六曲屏風などがある。



6 金毘羅神社
大国主命を主祭神とし、須佐之男命、加具土命を祭礼として祭る。名古屋城築城当時より城内三之丸の重臣大道寺氏邸に祭られていたが、安政6年(1859)にこの地に移された。毎年10月10日は大祭が行われる。



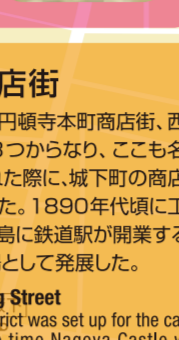
8 真言宗高田派愛知別院
明暦3年(1657)当地に建立。当初唐行院と称し、宝暦4年(1754)専修寺愛知別院と改めた。荘厳な偉容を誇った本堂は戦災で焼失したが、山門・鐘楼は創建当時を伝える。大晦日、近隣の人のつく除夜の鐘が響く。



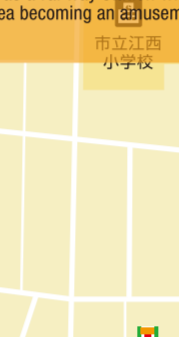
円頓寺商店街
円頓寺商店街、円頓寺本町商店街、西円頓寺商店街の3つからなり、こども名古屋城が築城された際に、城下町の商店街として整備された。1890年代頃に工場が建設され、社島に鉄道駅が開業すると名古屋の盛り場として発展した。



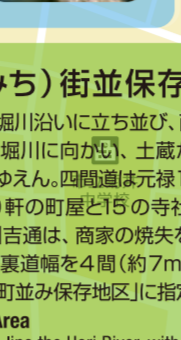
Endoji Shopping Street
This shopping district was set up for the castle town area at the time Nagoya Castle was being constructed. In about 1890, a factory was built as well as a railway station which both led to this area becoming an amusement district.



四間道(しけみち)街並保存地区
水運を利用する商家が堀川沿いに立ち並び、商家の玄関は軒先の集積を行うため堀川に面し、土蔵が家の裏手に作られたのが四間道のゆえん。四間道は元禄13年(1700)の元禄の大で1649軒の町屋と15の寺社が焼失した。尾張藩4代藩主の徳川吉通は、商家の焼失を避けるため、堀川沿いにある商家の裏道幅を4間(約7m)に拡張した。1986年、名古屋市の「町並み保存地区」に指定されている。



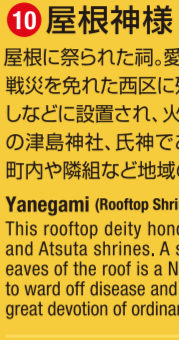
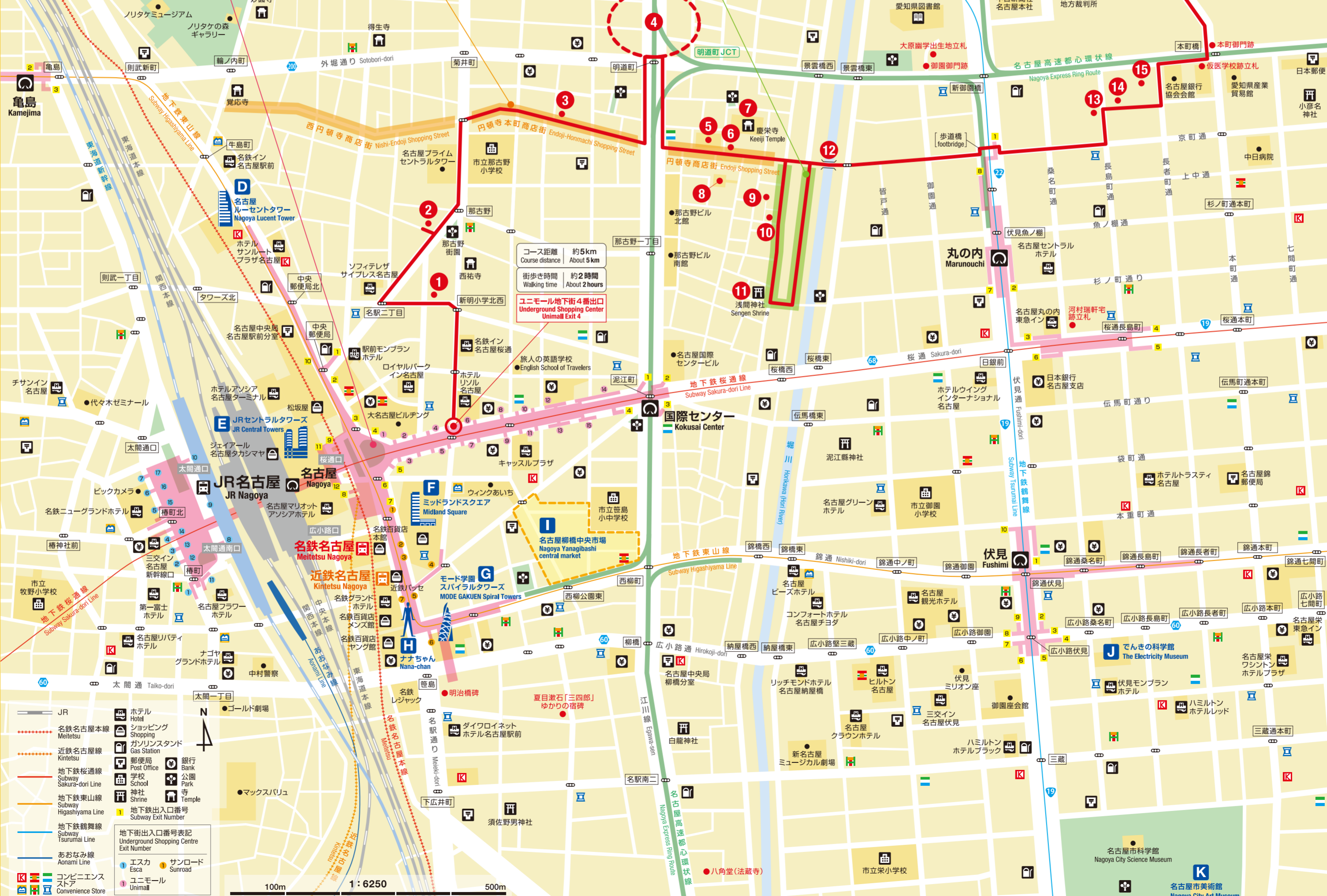
Shikemichi Protected Area
Shops and houses used to line the Hori River, with the front doors facing the river to collect and distribute supplies. In 1700, the town was destroyed by fire. After that, the road behind the houses was widened to seven meters to avoid future destruction of houses by fire. This was designated as a protected area of Nagoya in 1986.



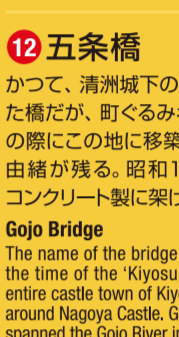
堀川
慶長15年(1610)名古屋城下と熱田の浜を結ぶ輸送路として福島正則によって開削されたと伝えられている。当時は名古屋城近くのこの地で堀留になっていたが、天明4年(1784)に行われた大幸川の付け替え、明治10年(1877)の黒川治源による黒川の開削さらに、昭和初期の改修を経て現在に至る。



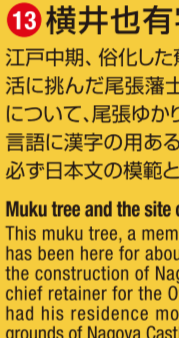
Hori River
Hori River was built by Masanori Fukushima in 1610 as a transport link between Nagoya Castle and Atsuta beach. In 1784, the river was extended to connect with the Daiko River and in 1877 it was extended further to connect with the Kurokawa (Kuro River).



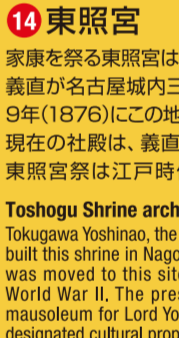
11 浅間神社 Sengen Shrine
この屋根が地蔵の姿を模した。寛文10年(1770)に創建された。浅間神社は、浅間大菩薩を祀る。境内には、浅間大菩薩の御宇(1895)に再建された。



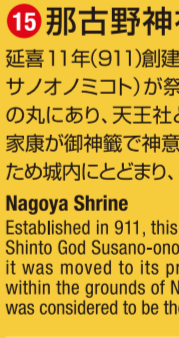
12 五条橋
かつて、清洲城下の五条川に架けられていた橋だが、町ぐるみ名古屋に移った清洲城の際にこの地に移築された。橋の名にその由緒が残る。昭和13年(1938)、木橋をコンクリート製に架け換えた。



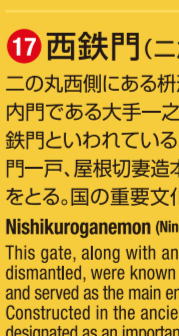
13 横井也有宅址(ムクノキ)
江戸中期、俗化した蕉風(芭蕉の系統)の復活に挑んだ尾張藩士、著書のひとつ「踏衣」について、尾張ゆかりの永井荷風は「日本の言語に漢字の用あかざり千年の後に誰も必ず日本文の模範となるべきもの」と絶賛。



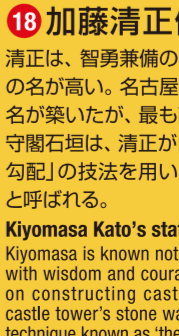
14 東照宮
家康を祭る東照宮は元和5年(1619)藩祖義直が名古屋城内三の丸に創建した。明治9年(1876)にこの地に移った戦災で焼失。現在の社殿は、義直の正室高原院の霊廟。東照宮祭は江戸時代名古屋最大の祭り。



15 那古野神社
延喜11年(911)創建といわれ、素戔嗚尊(スサノオミコ)が祭神。もとは名古屋城三の丸にあり、天王社と称された。築城の際、家康が御神籤で神意を伺い遷座不可と出たため城内にとどまり、名古屋の氏神となった。



16 愛知県護国神社 Aichi Gokoku Shrine
Established in 911, this shrine is dedicated to the Shinto God Susano-ono-mikoto, Called Tennoha, it was moved to its present site in 1876 from within the grounds of Nagoya Castle, for which it was considered to be the guardian deity.



17 西鉄門(二之丸大手二之門)
二の丸西側にある桁形の外門となるもので、内門である大手一之門(現存せず)と共に西鉄門といわれている。桁形御門ともいい、一門一戸、屋根切妻造本瓦葺で、高麗門の形式をとる。国の重要文化財に指定されている。